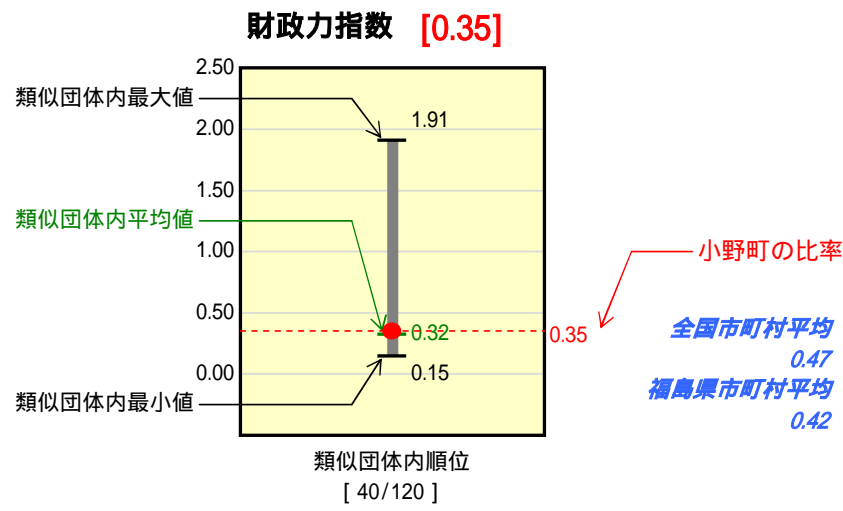


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

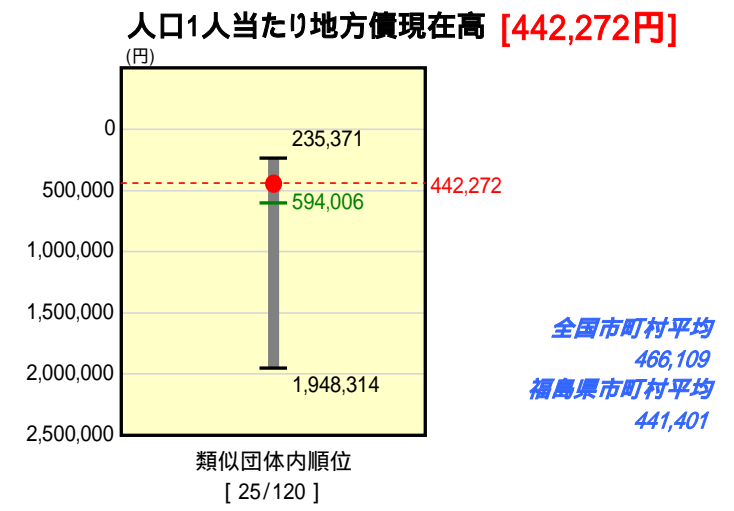
## 福島県 小野町

人口	12,466 人(H17.3.31現在)
面積	125.11 km <sup>2</sup>
歳入総額	4,434,101 千円
歳出総額	4,334,543 千円
実質収支	85,754 千円

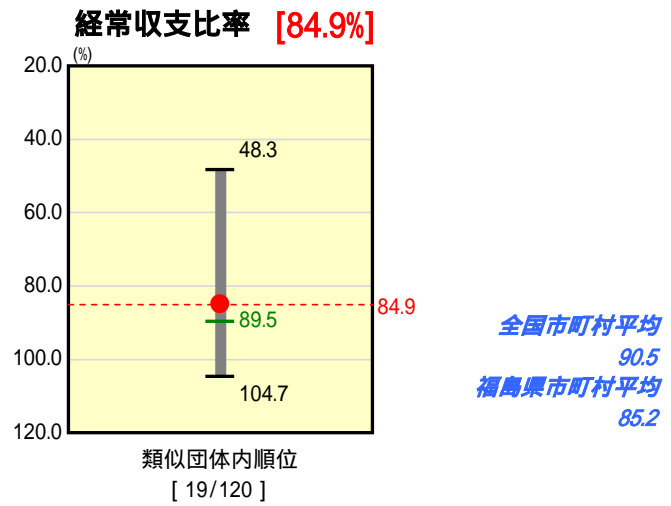
### 財政力



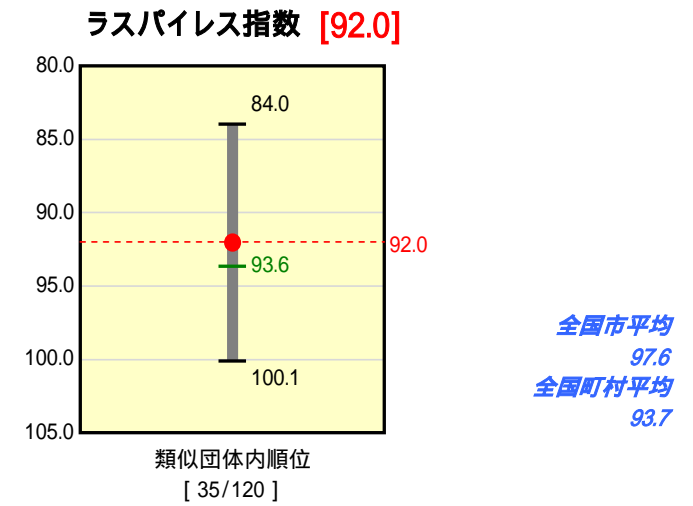
### 将来負担の健全度



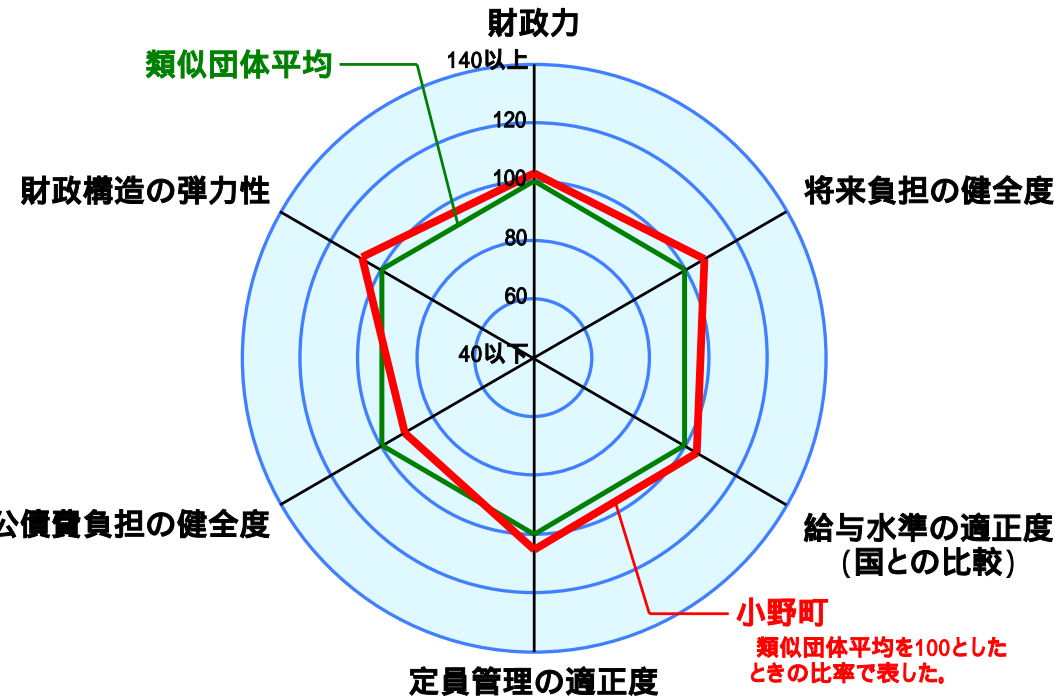
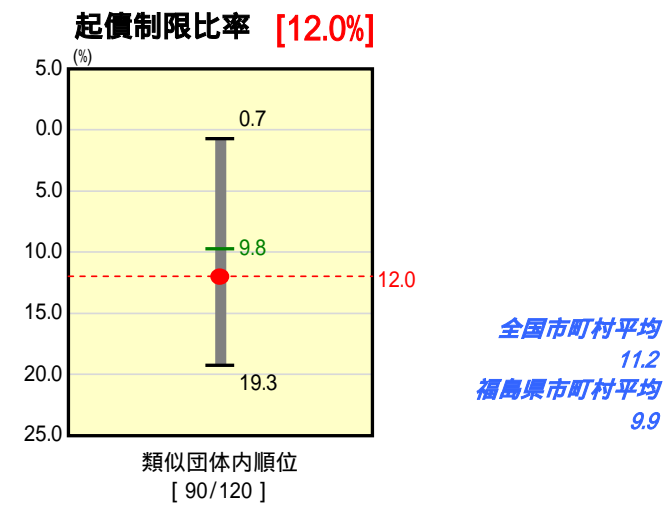
### 財政構造の弾力性



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

- 【財政力指数】**：人口の減少や町内に大規模な事業所もないことなどから財政基盤が弱いですが、指数は類似団体平均を上回っている。町独自の行政改革大綱に基づく組織・機構の見直し(12課体制から7課体制)、職員数削減等による人件費の抑制(5年間で35,300千円削減)に取り組むとともに、補助費、物件費、投資的経費をはじめとした各種経費の徹底的な見直しを行い、行政の効率化、財政の健全化を図っている。
- 【経常収支比率】**：地方債の新規借入額の抑制、過去の繰上償還の実施による公債費の抑制(H16・2,400千円削減)、職員数削減(H16・11名減)、物件費(H16・31,000千円削減)等の削減効果により比率は類似団体を下回っているが、介護保険、老人医療等の福祉関係経費の増加などにより、比率は年々悪化傾向にある(対前年度比3.1ポイント上昇)。人件費の占める割合が25%を超えているため、新規採用の抑制等により職員数の削減(平成16～20年度の5年間で23人削減予定)等を行い抑制を図る。併せて、施設の統廃合・管理方法の見直し等々の策を講じ、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持していく。
- 【ラスパイレス指数】**：類似団体平均を1.6ポイント下回っている。平成16年度において11名の職員が定年等により退職したが、定期昇給により全体では、ラスパイレス指数が0.8ポイント上昇し、92.0となった。特殊勤務手当は、平成14年度に全廃しており、その他の手当等についても今後見直しを行う。
- 【起債制限比率】**：普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い公債費が上昇し、類似団体平均を上回っている。起債依存型の事業実施の見直しなどにより地方債発行額の抑制を図り、類似団体の水準まで引き下げる。
- 【人口1人あたりの地方債残高】**：近年大規模事業が少なかったため、類似団体平均を下回っている。今後も地方債発行を抑制し、類似団体平均を上回ることがないよう努める。
- 【人口1,000人あたりの職員数】**：保育園等の幼児教育施設などの施設数が多いが、類似団体平均を1.32人下回っている。今後、行政改革大綱に基づく施設の統廃合(幼稚園・保育園の一元化等)、総務省通知による定員適正化計画による職員数の削減(平成16～20年度の5年間で23人削減予定)を行う。

### 定員管理の適正度

